

——部をひらがなになおし、横に書きなさい。

(1479)	(1477)	(1475)	(1473)	(1471)	(1469)	(1467)	(1465)	(1463)	(1461)
あせ 汗を拭う ぬぐう	まゆ 蚕の繭から生糸を作る	くろうとすじ 玄人筋からの評価が高い	げんかん 玄関の片隅においておく かたすみ	きょうあくはん 凶悪犯に惨殺される ざんさつ	しょうぎばん 将棋盤の上の香車の駒 きょうしゃ こま	くつずれ かかとの靴擦れが痛い	こさつ 晩秋の古刹めぐり	きひざい ハトよけの忌避剤	すたり はやり廃りに左右されない服
(1480)	(1478)	(1476)	(1474)	(1472)	(1470)	(1468)	(1466)	(1464)	(1462)
あやしい 妖しい光を放つ宝石	うたいぞめ 能楽堂の新春謡初め	しゅつらん 出藍の誉れ ほまれ	あわてて 慌てて連絡する れんらく	しがけん 滋賀県のびわ湖ホール	こばむ 要求を拒む	にけん コンビニが二軒ある	けっかん 商品に欠陥が見つかる	かわる 土地が金に換わる	たえない 喜びに堪えない